

## ○プログラム名：小児外科・専門医取得コース

## ○プログラムの概要（目標、特色など）

当科は消化器外科と小児外科が一つの診療科になっている特性をいかし、とにかくわれがちな専門性のみならず、成人を含めた一般外科医（特に消化器）としての技量を修得することが可能です。小児外科専門医を取得するためには、日本外科学会認定の外科専門医の取得が必須ですので、後期研修の1年目には、呼吸器・内分泌外科、心臓外科、血管外科、乳腺科、麻酔科などとの協力体制により各科をローテートし、各種疾患の診断・治療（手術手技や周術期管理）を習得し症例を経験します。また、2年目には、消化器外科（上部消化管グループ、下部消化管グループ、肝胆膵グループ）、小児外科をローテートし、手術手技や周術期管理を研修します。また、小児全般の取り扱いや小児特有の病態・疾患に対する臨床能力を向上するために、一定期間大学病院の小児科で研修を行います。外科専門医取得後は、小児外科関連研修病院（静岡県立こども病院、自治医科大学病院小児外科など）にて、さらに小児外科の研鑽を積みます。外科専門医の修練期間を含めて、最短で7年で小児外科専門医が取得できます。小児外科専門医に関する詳細は、日本小児外科学会のホームページ（日本小児外科学会専門医制度施行細則：[http://www.jsps.gr.jp/public/rules\\_03.htm](http://www.jsps.gr.jp/public/rules_03.htm)）をご覧ください。

外科専門医取得後、学位（医学博士号）取得を希望する者は、4～6年目に2年程度、東京医科大学の基礎医学教室や関連研究施設（国立がんセンター研究所、国立成育医療センター研究所など）で学位取得のための集中的な研究期間を設けます。

## ○年度毎の研修内容（例）注：4年目以降は、希望に応じて研修内容が異なります。（専門医取得コース）

- 1年目 外科各科をローテート
- 2年目 消化器外科・小児外科・小児科をローテート
- 3年目 関連研修病院にて一般外科・小児外科を研修
- 4年目 小児外科関連研修病院にて研修、外科専門医取得
- 5年目 小児外科関連研修病院にて研修
- 6年目 大学病院または関連病院にて研修
- 7年目 小児外科専門医取得

## ○週間スケジュール

	午前	午後
月曜日	病棟研修	手術研修
火曜日	外来実習	症例検討会
水曜日	手術研修	手術研修
木曜日	手術研修	病棟研修
金曜日	手術研修	外来研修
土曜日	モーニングカンファレンス、病棟業務	

## ○取得できる資格

外科専門医（日本外科学会）、小児外科専門医（日本小児外科学会）、消化器外科学会専門医（日本消化器外科学会）など

## ○プログラム終了の評価・認定方法

上記に掲げた専門医を取得することによってプログラム終了と評価します。

## ○処遇・待遇

- ・初期の3年間は後期研修医として月額20万円が支給されます。当直を行った場合には1回につき9800円が支給されます。
- ・週1日（半日ずつであれば2日）の院外勤務が可能です。これに対する給与は勤務先から支給されます。

- ・ 月 1~2 回の土日当直を紹介します。
- ・ 健康保険, 厚生年金, 労災保険に加入します。
- ・ 4 年目以降の処遇に関しては, 病院の規定に従います。

○その他

ラボセンター(ブタを使用)を用いた手術研修を定期的に行っており, これにより開腹・閉腹, 腸切除, 消化管吻合, ラパコレ, 脾摘, 各種内視鏡下手術の基本的な手技を経験年数別に早い段階から, より実践的に研修することが可能です。年に数回行われる, 小児外科や一般外科関連の学術集会, 研究会, 研修会に参加します。